

総務教育常任委員会資料

(令和4年3月22日)

〔件名〕

- ・鳥取県森林環境保全税のあり方検討会の設置・開催について
【税務課】・・・2
- ・「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」
第8回会議の開催について
【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】・・・3

総 務 部

鳥取県森林環境保全税のあり方検討会の設置・開催について

令和4年3月22日
税 務 課
森林づくり推進課

鳥取県では、県民共通の財産である森林を「県民全体」で守り育てていく取組の一環として、平成17年4月より森林環境保全税を導入しています。

令和4年度が第4期の最終年度となりますが、平成31年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、これにより国税である「森林環境税」（令和6年度から課税）及び「森林環境譲与税」（令和元年度から譲与）が創設されたことから、県税である森林環境保全税のこれまでの事業効果等の検証を行うとともに、本税のあり方を検討するため、下記のとおり検討会を設置し、第1回あり方検討会を開催します。

記

1 鳥取県森林環境保全税（県税）のあり方検討会の設置について

(1) 検討会の目的

令和6年度からの森林環境税（国税）の課税開始を踏まえ、森林環境保全税の存続の可否を含むあり方について幅広く客観的な視点で検討を行う。

(2) 検討会委員

区 分	氏 名	団体（所属）名・職 名
学 識 者	沼尾 波子	東洋大学国際学部教授（地方財政論）
	荒田 鉄二	公立鳥取環境大学環境学部教授（環境哲学）
納税者代表	下浦 友紀	税理士
市町村代表	辻 佳 枝	米子市総務部長
	矢 部 整	智頭町副町長
県	西尾 浩一	鳥取県総務部長

(3) 主な検討事項

- ア 森林環境保全税（県税）のこれまでの事業実績及び事業効果等の検証・評価
- イ 森林環境税（国税）の創設を踏まえた両税の関係性の整理
- ウ 森林環境保全税（県税）の存続の可否及びあり方
（存続する場合は事業規模や税額の妥当性、廃止する場合は現在の取組への対応等）
- エ その他必要な事項

(4) スケジュール

- 令和4年3月28日 第1回あり方検討会
- 6月頃 第2回あり方検討会：中間とりまとめ
- 9月頃 第3回あり方検討会：最終とりまとめ

※検討会の内容を踏まえ県民アンケート等を実施し、広く県民の皆様の意見を伺いながら検討を進める。

2 鳥取県森林環境保全税のあり方検討会（第1回）の開催について

(1) 日時

令和4年3月28日（月） 午後1時30分～4時30分

(2) 開催方法

オンライン開催

(3) 議題

- ア 鳥取県森林環境保全税のあり方検討会の趣旨と進め方について
- イ 論点の整理
【内容】森林環境保全税のこれまでの効果及びその検証、森林環境保全税と森林環境税の関係の整理、森林環境保全税により取り組むべき財政需要の検討など
- ウ 鳥取県森林環境保全税に係る県民アンケート等の内容について
- エ その他

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地下水等調査会」第8回会議の開催について

令和4年3月22日
淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地下水等調査会」第8回会議を開催します。

- 1 日時
令和4年3月26日(土) 午後1時から午後3時30分頃まで
- 2 会場
〔会議〕 さなめホール(米子市淀江文化センター)・イベントホール(米子市淀江町西原708-4)
〔モニター傍聴〕 西部会場: さなめホール・大ホール() (定員65名)
 東部会場: とりぎん文化会館・第2会議室(鳥取市尚徳町101-5) (定員32名)
- 3 議題(予定)
(1) 地下水シミュレーションの現況再現解析結果
(2) これまでの調査・解析結果のまとめ
- 4 開催方法
新型コロナウイルス感染症対策として、全委員がインターネットを介したウェブ会議で参加。
- 5 会議の傍聴
(1) 傍聴者は、モニター傍聴会場において視聴していただく。
(2) マスク着用、受付での手指の消毒、連絡先等(氏名、住所、電話番号)の記入、検温などをお願いする。(協力いただけない方、風邪症状がある方、味覚・嗅覚に違和感がある方などの傍聴はお断りする。)
(3) スマートフォンをお持ちの方は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールをお願いする。また、会場に設置する「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の二次元バーコード(QRコード)の登録をお願いする。
(4) 録音、撮影は禁止する。
(5) 新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、傍聴を制限する場合がある。
(6) 会議の資料、傍聴方法、その他のお知らせは、当室のホームページに掲載する。
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>)

<参考>(調査の経過)

- R2. 2.16 第1回調査会 … 調査方針決定
5.17 第2回調査会 … 調査計画決定
7. 6 パイロット調査開始(パイロットボーリング(3本)、塩川流量連続観測等)
9.22 第3回調査会 … パイロット調査結果を踏まえ調査計画の見直し
(*)パイロット調査により計画地周辺では概ね3つの帯水層を確認
→ 本格調査(ボーリング(28本)、地下水位連続観測、水質調査、シミュレーション解析等)へ移行
- 11月 各種通年観測スタート
- R3. 2.23 第4回調査会 … 地質構造、地層及び地下水(帯水層)の分布を概ね推定
(*)3つの帯水層と2つの難透水層が広く概ね連続して分布
- 5.22 第5回調査会 … 水理地質構造(地下水の賦存状態を含む地質構造)の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの設定条件の検討
(*)第3帯水層(地表から3番目の地下水の地層)は、孝霊山や鍋山など周辺の山で貯えられた地下水が流れ込んでいる可能性がある。
(*)モデルの平面分解能(格子の大きさ)は約30~150m、モデルの底面は標高マイナス1000m程度。〔参考〕解析領域: 140km²(うち詳細評価範囲: 30km²)
- 9.25 第6回調査会 … 水理地質構造の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの検証(初期設定値による解析)
(*)地下水位の等高線図(コンター図)によると、福井水源地の主要供給源である第3帯水層は、計画地周辺及び淀江平野では、概ね南東→北西方向へ流れていると考えられる。
(*)シミュレーションモデルに用いた地質データ等を検証し、更に詳細な地下水の流れ等を解析する。
- 12.25 第7回調査会 … 水理地質構造の見直しとシミュレーションの現況再現解析(途中段階)
(*)水理地質構造の見直し及びシミュレーションの解析方法は適切であり、実測値と計算値が段々と整合してきた。
(*)シミュレーション(途中段階)では、(現場調査に基づく)水理地質構造の解析から推定された地下水の大まかな流れ(南東→北西方向)と概ね同じ方向の流れが解析された。